

ねりま協働ラボ 書類様式・記入例

提出方法・提出先については、ねりま協働ラボ
募集要項 9～12 ページの内容をご確認ください。

一次審査（エントリー）に必要な書類 【提出期限 8月29日(金)※】

・ねりま協働ラボエントリーシート（第1号様式）

二次審査に向けて必要な書類 【提出期限 11月28日(金)※】

ねりま協働ラボ事業計画書（第2号様式）

ねりま協働ラボ収支予算書（第3号様式）

団体概要書（第4号様式）

事業の連携実施に係る合意書（参考様式）

【以下の添付書類についても提出が必要です（任意様式）】

見積書の写し（税込単価5万円を超える物品の場合）

団体の定款・規約・会則等

団体の構成員名簿（事業の実施に関わる方の役職・氏名を記載したもの）

1年以上の活動実績が分かる事業報告書、収支決算書

コラボチャレンジで設立1年未満の団体は、事業計画書および収支予算書

団体の活動内容がわかるチラシやパンフレット（ない場合は添付不要）

連携団体の定款・規約・会則等

連携団体の構成員名簿（事業の実施に関わる方の役職・氏名を記載したもの）

連携団体の活動実績が分かる収支決算書（設立1年未満の団体は収支予算書）

未来創造チャレンジに単一の団体で応募する場合、 および ~ の書類は不要

ねりま協働ラボ エントリーシート

練馬区長 宛

ねりま協働ラボ事業について、ねりま協働ラボ事業実施要綱第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり申請します。

応募部門

☐ 未来創造チャレンジ部門☐ コラボチャレンジ部門☐ （町会・自治会枠）

※あてはまる場合はチェックを入れてください

団体名	
団体所在地	〒
代表者名	
代表者住所	☐ （団体所在地と同一）〒
連絡担当者氏名	☐ （代表者と同一）
電話番号	
E-mail	

※コラボチャレンジ部門の場合は以下もご記入ください

相手先団体名	☐ 未定
相手先団体所在地	〒

団体の活動実績や活動体制等を教えてください。

提案するアイデアに関して、どのような実績や強みがあるのか、具体的にお書きください。

対象団体要件の確認

以下の団体要件に適合するか否かを確認の上、チェックを付けてください。

チェック欄

- ① 組織運営に関する定款、規則、会則等があり、構成員が5人以上かつ練馬区在住、在勤または在学者を含んでいる。
- ② 予算、決算が適切に行われている。
- ③ 事業の成果報告および会計報告ができる。
- ④ 1年以上の活動実績を有している。（コラボチャレンジの場合は不要）
- ⑤ 特定の政党、政治活動または宗教に関わる活動をしていない。
- ⑥ 暴力団または暴力団の構成員の統制下にある団体ではない。

☐
☐
☐
☐
☐
☐

裏面へ続く

アイデアを教えてください（800字以内）

タイトル： _____

地域の課題と感じていることやその背景、協働することによりどのようなことが可能になるのかを含めてお書きください。

対象事業要件の確認

以下の事業要件に適合するか否かを確認の上、チェックを付けてください。

チェック欄

- | | |
|--|--------------------------|
| ① アイデアの実現化に向けて、事業の計画から実施まで主体的に実施することができる。 | ☐ |
| ② エントリーするアイデアに関して、既に他の補助金等を受けていない。または受ける予定はない。 | ☐ |

ねりま協働ラボ エントリーシート

記入例

練馬区長 宛

ねりま協働ラボ事業について、ねりま協働ラボ事業実施要綱第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり申請します。

応募コースに☑を入れる

応募部門 ☒ 未来創造チャレンジ部門☐ コラボチャレンジ部門☐ （町会・自治会枠）

※あてはまる場合はチェックを入れてください

団体名	NPO法人●●●●●●●●
団体所在地	〒●●●●-●●●● 練馬区練馬●-●-●●
代表者名	東京 練子
代表者住所	☐ （団体所在地と同一）〒●●●●-●●●● 練馬区練馬●-●-●●
連絡担当者氏名	☐ （代表者と同一）練馬 次郎
電話番号	●●●●●-●●●●●
E-mail	●●●●@●●●●.com

※コラボチャレンジ部門の場合は以下もご記入ください

相手先団体名	☐ 未定 NPO法人●●●●●●●●
相手先団体所在地	〒●●●●-●●●● 練馬区練馬●-●-●●

団体の活動実績や活動体制等を教えてください。

提案するアイデアに関して、どのような実績や強みがあるのか、具体的にお書きください。

これまで、こども食堂を5年間運営しており、子どもやひとり親世帯の支援、高齢者の孤食、地域の居場所を提供する等、さまざまな支援を行ってきた。活動を進める中では、地域の町会等の組織や、地区区民館や児童館等にも、広報やスタッフ募集に協力いただく等、地域内のさまざまな団体とつながり、密に連携してきた。

また、活動の運営には、代表者だけでなく、複数の役員が分担して役割を担うことで、代表者だけでなく、主に●名の役員が核となり、持続可能な実施体制を組んでいる。

これらの実績により培ったノウハウ、人脈を生かし、アイデアの実現化に取り組みたいと考えている。

対象団体要件の確認

以下の団体要件に適合するか否かを確認の上、チェックを付けてください。

チェック欄

- ① 組織運営に関する定款、規則、会則等があり、構成員が5人以上かつ練馬区在住、在勤または在学者を含んでいる。 ☒
- ② 予算、決算が適切に行われている。 ☒
- ③ 事業の成果報告および会計報告ができる。 ☒
- ④ 1年以上の活動実績を有している。（コラボチャレンジの場合は不要） ☒
- ⑤ 特定の政党、政治活動または宗教に関わる活動をしていない。 ☒
- ⑥ 暴力団または暴力団の構成員の統制下にある団体ではない。 ☒

対象団体要件を確認して☑を入れる

裏面へ続く

アイデアを教えてください（800字以内）

タイトル： 練馬発！こども食堂からおせっかいなまちづくり

地域の課題と感じていることやその背景、協働することによりどのようなことが可能になるのかを含めてお書きください。

地域課題の背景や現状を
具体的に記述

●●の統計では、●●年時点のひとり親家庭は●●人、ひとり暮らし高齢者の数は●●人とされている。当団体が拠点としている●●地域にも、ひとり親世帯、ひとり暮らし高齢者等が多数居住している。

上記の背景の中、当団体は、多世代交流や、食を通じた居場所作りを行うため、こども食堂（子どもでなくても参加可）を運営している。当団体を利用する人の数は、年に●●人であり、まだまだ支援を必要としている人に情報が届いていないと考えられる。また、せっかく当拠点の利用を希望している方がいても、区内の遠方に居住している等の理由により、なかなか継続して通えない方も一定数存在する。

そこで、区と協働して、こども食堂の連携システムを作り、情報を広げたいと考える。そこから、地域の企業等とつながって、支援やボランティア募集もできる窓口として活用したい。また、こども食堂の広報や団体同士をつなげることを目的としたイベントを開催したい。さらには、こども食堂団体だけではなく、生活を支援する団体にもシステムへの登録を促し、支援期間中での登録団体●団体、システムを通じた実際の利用者●●人を目指す。また、利用希望者が増えていて、利用をお断りしている等、支援が必要な人全員への対応が難しい団体には、近隣の団体とスタッフを融通しあって、連携して利用者を受け入れるような体制づくりにも活用してもらいたい。

課題解決策を具体的に記述

これらの取組により、区内で支援が必要な世帯や、孤独を感じている方にも、子ども食堂をはじめとした様々な取組を知ってもらい、気軽に利用してもらえようようにしたい。将来的には、この取組を全国に発信して、練馬区を行政と住民団体で支え合うまちとして、PRしたい。

課題解決後のゴールを具体的に
記述

対象事業要件の確認

対象事業要件を確認して☑を入れる

以下の事業要件に適合するか否かを確認の上、チェックを付けてください。

- ① アイデアの実現化に向けて、事業の計画から実施まで主体的に実施することができる。 ☐
- ② エントリーするアイデアに関して、既に他の補助金等を受けていない。または受ける予定はない。 ☐

チェック欄

年 月 日

ねりま協働ラボ事業計画書

1 事業の内容

団体名		
事業名		
事業種別		☐ 未来創造チャレンジ部門 ☐ コラボチャレンジ部門 (☐ 町会・自治会枠)
解決したい地域 課題の現状や 区民ニーズ		
事業の目的		
事業 内容	実施期間	年 月 日 ~ 年 月 日
	実施場所	
	対象者	
	事業内容	
	活用できる 地域資源	

2 事業計画・スケジュール等

必要な年数分を全て記入してください。コラボチャレンジ部門では、初年度分のみ記入してください。
(必要に応じて記入枠の大きさを調整してください)

年度	日付	内 容
() 年度		
() 年度		
() 年度		

3 事業の効果等

具体的な事業効果	
地域への波及効果・発展的効果 将来への展開	

4 協働することによる効果、役割分担

コラボチャレンジ部門では連携団体、未来創造チャレンジ部門では練馬区との協働について記載してください。

協働することによる効果・必要性	
協働の役割分担 協働する相手との具体的な役割分担を記載	

5 事業の体制 必要に応じて行を追加してください。

団体内の 実施体制	氏名	役割分担
連携団体 コラボチャレンジ部門では、連携相手の団体情報を記入してください。	団体名	活動内容

6 期間終了後の事業計画（継続性）および資金計画

7 その他

●年●月●日

ねりま協働ラボ事業計画書

1 事業の内容

団体名	●●町会	
事業名	●●地域を世界とつながるまちにしたい！	
事業種別	☐ 未来創造チャレンジ部門 コラボチャレンジ部門 (☒ 町会・自治会枠)	
解決したい地域課題の現状や区民ニーズ	統計によると、練馬区内には約●●人、●●地域には約●●人の外国人が居住している。日本に引っ越してきたばかりの外国人は、生活文化の違いや、言葉の壁により、コミュニケーションを取ることが難しいと感じている。一方で、長年居住している外国人は、日本の生活や文化に慣れ、地域でお祭り等によく顔を出して、地域に貢献している人もいる。	
事業の目的	新たに日本に引っ越してきた外国人が、いち早く日本の生活に慣れ、行政手続き等がスムーズに行えるようサポートし、練馬を第二の故郷だと思い、地域に貢献してもらえるような取組を実施したい。また、地域の日本人と外国人との交流の機会や、外国人同士の交流の機会を創出していきたい。	
事業内容	実施期間	●●年●月●日 ~ ●●年●月●日
	実施場所	●●●地域集会所
	対象者	●●●地域内外に住む外国人、地域住民
	事業内容	町会と地域にある外国語サークルが協働して、国籍の垣根を越えて助け合えるまちづくりを目指す。町会は教室となるスペースを開放したり、回覧や掲示板で広報する。外国語サークルでは、日本語を教える講座を開いて必要なコミュニケーションスキルや日本の文化を教える等、連携して進めたい。また、町会は、行政と連携して、防災やごみ出し等の外国人向けの案内を入手し、講座の際に教材として活用し、生活に必要な知識も同時に身につけてもらう。
	活用できる地域資源	●●町会会館、●●地区区民館、●●文化館、●●庭園

地域課題の現状やニーズを具体的に記述

事業を行う目的を具体的に記述

事業内容を具体的に記述

地域内で事業で活用できそうな場所、施設（官民間問わず）等があれば具体的に記述

2 事業計画・スケジュール等

必要な年数分を全て記入してください。コラボチャレンジ部門では、初年度分のみ記入してください。
(必要に応じて記入枠の大きさを調整してください)

期間 日付	内 容
令和7年 4月～ 令和8年3月	月に1回、●●にて、外国人向けの日本語講座を開催。 8月には、ワールドコミュニティフェス(仮称)として、●●(会場)で、外国人の交流ができるイベントを開催し、参加者●●人を目指す。 年度や期間ごとに区切って、実施のスケジュールを記述 (現在の予定で構いません)
令和8年 4月～ 令和9年 3月	未来創造チャレンジ応募の場合は 2年目と3年目の計画もご記入ください。
令和9年 4月～ 令和10年 3月	

3 事業の効果等

具体的な事業効果	日本語の習得による外国人のお困りごとの解決、円滑な行政手続きをサポートすることにより、文化間の障壁の解消、外国人から異文化を学び、交流の機会となる。
地域への波及効果・発展的效果 将来への展開	●●地域を外国人向けのまちとしてPR、他地域の町会にも事例を共有し、練馬の各所でも同じような取組を行われることを目標とし、取組む町会をサポートしたい。

4 協働することによる効果、役割分担

コラボチャレンジ部門では連携団体、未来創造チャレンジ部門では練馬区との協働について記載してください。

協働することによる効果・必要性	区と協働で取り組むことにより、外国人にとって難しいと思われる、行政に必要な手続きの案内をはじめ、外国人が日本で生活する上での情報を得られやすく、対象となる方に伝える情報の幅が広がる。
協働の役割分担 協働する相手との具体的な役割分担を記載	区・・・防災情報やごみ出しについて、他各手続きの案内窓口の情報提供、実施会場に関する情報提供、事業全般の支援 ●●町会・・・町会では町会会館の提供、広報、行政情報収集 ●●サークル・・・日本語講師

5 事業の体制

必要に応じて行を追加してください。

団体内の実施体制	氏名	役割分担
	●● 一郎	事業統括・企画立案
	●● 花子	広報・渉外
	●● 次郎	会計・庶務
連携団体 コラボチャレンジ部門では、連携相手の団体情報を記入してください。	団体名	活動内容
	●● 外国語サークル	●●の活動をしている。

6 期間終了後の事業計画（継続性）および資金計画

期間終了後も、同様の活動を継続する。資金は、東京都地域の底力発展事業助成を活用する。

7 その他

第3号様式（第6条関係）

年 月 日

ねりま協働ラボ事業収支予算書（ 年度実施分）

団体名	
事業名	

収入区分	金額	内訳（単価×数量）
ねりま協働ラボ補助金		（千円未満切り捨て）
収入総額（A）		

支出区分	金額	内訳（単価×数量）
補助対象経費		
	小 計(B)	
補助対象外経費		
	小 計(C)	
総事業費(B)+(C)		

- ※1 収入総額（A）＝総事業費(B)+(C) となるように記載してください。
- ※2 事業に係る全ての経費（提案団体の自己負担額、受益者から徴収する利用料等、区の補助金交付希望額など）を収支予算書に記載してください。
- ※3 備品購入費（税込単価5万円を超える物品）は、見積書等を添付してください。

未来創造チャレンジの場合は
3年分、ご記入ください。

記入例

●年●月●日

ねりま協働ラボ事業収支予算書（●●年度実施分）

団体名	NPO法人●●こども食堂
事業名	こども食堂からおせっかいなまちづくり

収入区分	金額	内訳（単価×数量）
ねりま協働ラボ補助金	1,128,000	（千円未満切り捨て）
フェス売上	50,000	@100×500 食
自己資金	10,000	
収入総額（A）	1,188,000	

補助金以外の収入があれば計上してください。

支出区分	金額	内訳（単価×数量）
消耗品費	200,000	フェスでの材料費(80,000 円) 容器代（100 円×300 個=30,000 円） 参加賞（300 円×300 人=90,000 円）
印刷費	100,000	システムの宣伝(50,000 円) フェス広報チラシ印刷代（50,000 円）
交通費	50,000	運営スタッフの交通費実費
保険料	30,000	イベント保険(傷害、賠償責任含む)
通信費	48,000	Wi-Fi レンタル代 月 4,000 円×12 月
賃借料	100,000	フェス会場使用料
委託料	300,000	システム構築費（●●会社へ委託）
備品購入費	300,000	テント 100,000 円×2 張=200,000 円 PC購入費 100,000 円、
小 計(B)	1,128,000	

税込単価が5万円を超える物品は、
見積書の添付が必要です。

第3号様式（第6条関係）

補助対象外経費	フェス当日スタッフ 弁当代	28,000	弁当代 600 円×40 人=24,000 円 お茶代 100 円×40 人=4,000 円
	スタッフ人件費	32,000	
	小 計(C)	60,000	
総事業費(B)+(C)		1,188,000	

- ※1 収入総額（A）＝ 総事業費(B)+(C) となるように記載してください。
- ※2 事業に係る全ての経費（提案団体の自己負担額、受益者から徴収する利用料等、区の補助金交付希望額など）を収支予算書に記載してください。
- ※3 備品購入費（税込単価5万円を超える物品）は、見積書等を添付してください。

年 月 日

団体概要書

申請団体概要

団体名			
代表者氏名		役職	
団体所在地			
ホームページ			
設立年月日 (活動開始年月日)		構成員	名
主な活動目的			

添付書類

- 1 団体の定款、規則、会則等および構成員名簿（任意様式）
- 2 過去 1 年分の事業報告書及び収支決算書（任意様式）
 コラボチャレンジ部門で設立 1 年未満の団体は、事業計画書および収支予算書

団体概要書

申請団体概要

団体名	NPO法人●●こども食堂		
代表者氏名	●●●●	役職	会長
団体所在地	練馬区練馬●—●—●		
ホームページ	https://www.aaaa/bbbb/cccc/		
設立年月日 (活動開始年月日)	●●年●月●日	構成員	●名
主な活動目的	地域の子どもたちやひとり暮らし高齢者、生活困窮者の居場所作り、孤食の防止、地域の交流を目的として、毎週●曜日に子ども食堂を実施。 活動目的を記載 応募事業以外の活動含む		

添付書類

- 1 団体の定款、規則、会則等および構成員名簿（任意様式）
- 2 過去1年分の事業報告書及び収支決算書（任意様式）

コラボチャレンジ部門で設立1年未満の団体は、事業計画書および収支予算書

貴団体の書類を添付

年 月 日

事業の連携実施に係る合意書

団体名

代表者名

ねりま協働ラボ事業の申請について、下記のとおり合意し、関係資料を提出します。あわせて、連携先団体は申請団体に対し、ねりま協働ラボ事業の補助金の申請、実績報告、請求、受領に関する事項を申請団体に委任します。

記

1 事業名

2 申請団体名

3 連携先団体情報

団体名			
代表者氏名		役職	
団体所在地			
連絡担当者名			
電話番号			

添付資料

- 1 団体の定款、規則、会則等および構成員名簿（任意様式）
- 2 過去1年分の収支決算書（任意様式）
設立1年未満の場合は、収支予算書

事業の連携実施に係る合意書

団体名 NPO法人●●こども食堂

代表者名 東京 練子

ねりま協働ラボ事業の申請について、下記のとおり合意し、関係資料を提出します。あわせて、連携先団体は申請団体に対し、ねりま協働ラボ事業の補助金の申請、実績報告、請求、受領に関する事項を申請団体に委任します。

記

1 事業名

こども食堂から福祉のまちづくり

2 申請団体名

NPO法人●●こども食堂

3 連携先団体情報

連携する団体の情報を記載

団体名	●●町会		
代表者氏名	関町 太郎	役職	理事長
団体所在地	練馬区関町●—●—●		
連絡担当者名	錦 みなみ		
電話番号	●●●●—●●●●		

添付資料

- 1 団体の定款、規則、会則等および構成員名簿（任意様式）
- 2 過去1年分の収支決算書（任意様式）
設立1年未満の場合は、収支予算書

連携する団体の書類を添付